



株主のみなさまへ

第75期 報告書

2024年7月1日～2025年6月30日



株式会社 高見澤

社会の変化に対応しながら持続的な成長を続けるために、 サステナビリティ経営に取り組んでまいります。



株主のみなさまにおかれましては、平素より格段のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに当社グループ第75期報告書をお届けするにあたりまして、ご挨拶を申し上げます。
当連結会計年度におけるわが国経済は、堅調なインバウンド需要に加え、個人消費にも緩やかな回復傾向がみられ、景気は持ち直しの兆しをみせています。また、企業の投資意欲は引き続き堅調であり、業種を問わず設備投資の増加傾向が継続しています。一方で、地政学的リスクの高まりがグローバル経済の不確実性を一段と増大させています。さらに、物価高、家計支出の鈍化、中国経済の減速など、国内経済への下押し要因も多く、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような経営環境の中にあって、当社グループの当連結会計年度の経営実績は、積極的な営業活動により増収となりましたが、人件費及び諸経費が増加し、生産効率向上や価格転嫁に努めたものの、減益となりました。

今後も先行き不透明で厳しい経営環境が続くと予想されますが、各事業の持続的成長に向けて、営業エリアの拡大及び新分野への挑戦を積極的に進めるとともに、適正価格の追求と製品・サービスの質の向上を通じて、安定的な収益の確保を図ってまいります。

また、このたび当社では、持続可能な地域社会の実現と会社の成長の両立を実現するために、サステナビリティ経営への取り組みを経営上の重点課題と位置づけ、サステナビリティ経営方針を策定いたしました。次頁において、当社のサステナビリティ経営への取り組みをご紹介します。

株主のみなさまにおかれましては、何卒ご理解いただき、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2025年9月

代表取締役社長 高見澤 秀茂

経営理念

顧客・社員・株主・地域社会に必要とされ、
信頼され、貢献でき、存在感のある
良い会社（グッドカンパニー）を目指す。

当社は「サステナビリティ経営方針」を策定し、 環境、社会、人財、ガバナンスを中心に取り組み、企業価値向上を目指します。

このたび当社では、サステナビリティ経営への取り組みを経営上の重点課題と位置づけ、サステナビリティ経営方針を策定いたしました。本方針には「ESG：Environment（環境）、Social（社会）、Governance（ガバナンス）」や「SDGs：Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の視点を取り入れ、当社の事業領域に照らし、持続可能な地域社会の実現と当社の持続的な事業継続の両立のために優先して取り組むべき事項を盛り込みました。本方針の策定にあたっては、全社横断的なメンバーから成るプロジェクトチームを立ち上げ、さまざまな部門が連携して議論を進めてまいりましたが、その過程において、当社が直面する経営課題や潜在的なリスクを把握するとともに、サステナビリティの視点から新たな事業価値やビジネスチャンスを発見することができました。

今後は本方針に基づき、具体的な取り組みの実行・進捗管理・情報開示を一層強化し、サステナビリティ経営の実効性を高めてまいります。

当社は引き続き、環境変化や社会的要請に柔軟に対応し、すべてのステークホルダーのみなさまとともに持続可能な未来の実現に貢献し、企業価値向上を目指します。

サステナビリティ経営方針書

経営資源	重要課題	取組方針	2035年目標値	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
純資産80億円の 強固な財務体質	1 環境に配慮したモノづくり・ サービスを通じた 資源循環型社会への貢献	- 再生可能エネルギーとエネルギー効率化の推進 - ITを活用したCO₂排出量の削減 - 資源循環型の製造プロセスの構築および地産地消の推進	- CO₂排出量（2013年度比scope1,2）：60%削減 - リサイクル材の使用比率：10%以上 - 地元生産者との取引量（地域資源活用2020年度比）：50%増加	7 気候変動 13 気候変動 13 気候変動
長野県全域、 関東甲信越及び 中部圏域に跨る事業基盤	2 社会基盤を守り、 安心・安全な まちづくりの実現	- 社会インフラの維持・整備 - 安心・安全を守る製品・工事・サービスを通じた地域防災への貢献 - 事業活動を通じた災害対応への協力・支援	- 防災拠点として機能する事業所：30か所整備 - 防災拠点として機能する事務所に防災士を配置：30名以上 2030年までに地域を含めたBCP策定：以降年1回見直し	11 気候変動 12 気候変動 12 気候変動
社会インフラを担う 高い専門性、 製品設計ノウハウ	3 多様性を尊重し、 いきいきと活躍できる 職場環境の整備	- 安全と健康を守る - 全員参加・参画を目指す - ワークライフバランス・エンゲージメントの向上 - 多様な人財育成・登用、活躍の推進	2030年度までに認証取得：「健康経営優良法人」「くるみん」 - エンゲージメントスコア：70点達成 - 女性管理職割合：15% - 経営層への社員提案数：年2回以上	5 気候変動 8 気候変動 8 気候変動
組織の連携力、 サプライチェーン含めた 総合力（供給能力）	4 健全で透明性の高い 経営基盤の構築	- コーポレートガバナンスの強化 - コンプライアンスの徹底 - リスクマネジメント体制の強化	- ガバナンス委員会の開催：年1回以上 - 内部通報制度の整備：外部通報窓口の設置、見直し - 全役職員コンプライアンス研修の実施、及び理解度の確認：年1回以上実施 2030年までにリスクマネジメント体制の強化：以降年1回再評価	9 気候変動 16 気候変動 16 気候変動
風通しの良い 企業風土				
天然水をはじめとする 豊かな自然環境				

SDGsへの取組み

当社では、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた取組みを積極的に進めています。
具体的には、以下の項目について重点的に取り組んでおります。

エネルギー使用量の削減

デマンド管理により使用量を「見える化」することで削減に取り組んでいます。また、社内の照明器具のLED化や社有車のハイブリッド化を推奨しています。今後は、太陽光発電&蓄電システムの導入や小水力発電に注力してまいります。



働きやすい環境の整備

すべての従業員が平等で健康に働ける職場環境を目指しています。時間外労働の削減や有給休暇取得の推奨に加え、子育て支援の環境整備に努めてまいります。女性管理職をはじめとする多様な人材の登用にも取り組んでまいります。



社会に優しい運転の推奨とエコ運転

毎年、運転記録証明書と並行してSD(Safe・Driver)カード(無事故無違反の証)の取得を実施し、全従業員を対象に安全運転を推奨しています。自らの運転を見直し、無事故無違反だけでなくエコ運転に努めるよう取り組んでおります。



ブランドメッセージ

つ く ろ う、 今 日 を。



“社会になくてはならない存在でありたい”
多様化するこの社会、地域のなかで、わたしたちはどう進化していけるのだろうか。

かつての青果販売から、時代もわたしたちも大きく変化した。
しかし、そこにはひたむきに一日一日を積み上げてきた“今日”があった。

一つひとつをつくりあげてきた“今日”があった。

わたしたちは、毎日の積み重ねでしか越えられない明日があることを知っている。

TAKAMISAWA にとっての“今日”それは“確かな未来への一步”だ。
その一步が重なり、つむがれ、道となり、この先へとひろがっていく。

この先も、なくてはならない存在であるために

つくろう、まっすぐに

つくろう、ひたむきに

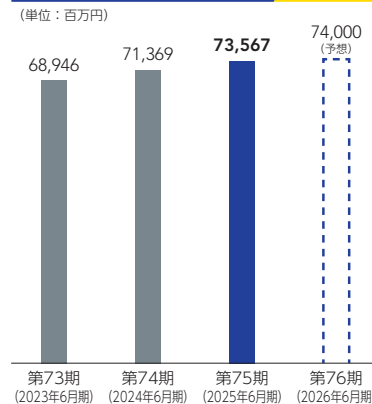
つくろう、もっと自由に

つくろう、今日を。

連結財務ハイライト

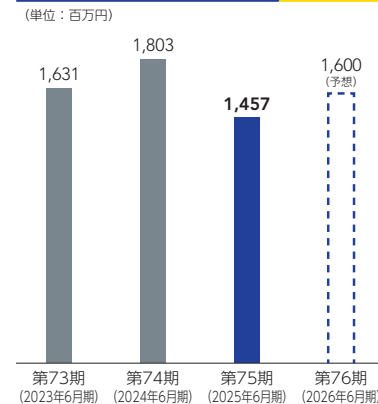
売上高

735億67百万円



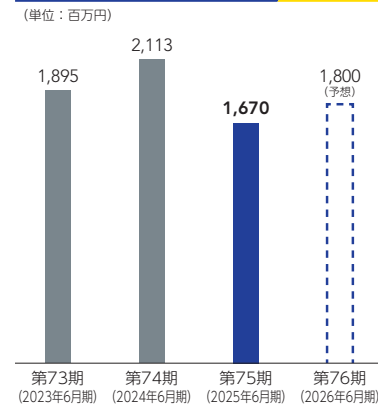
営業利益

14億57百万円



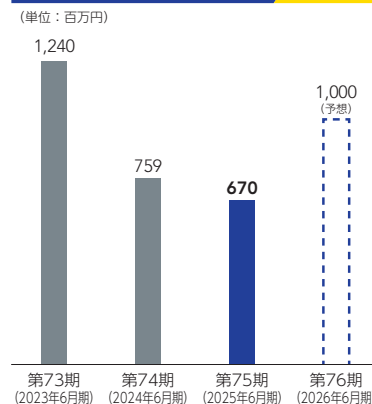
経常利益

16億70百万円



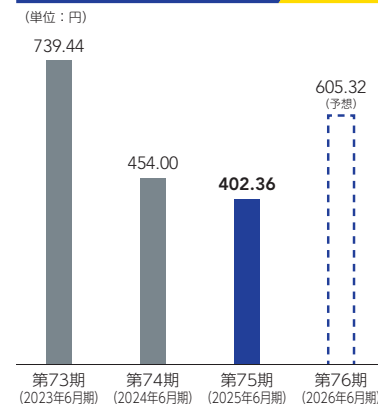
親会社株主に帰属する当期純利益

6億70百万円



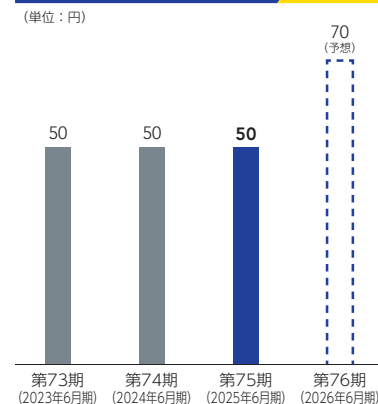
1株当たり当期純利益

402.36円



1株当たりの配当金

50円



詳細は当社ウェブサイト「IR・投資家情報」: <https://www.kk-takamisawa.co.jp/ir/>

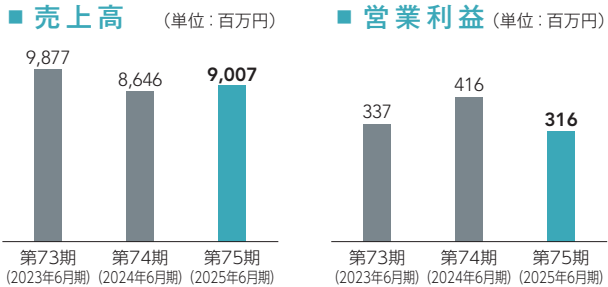


事業別セグメントの概況（連結）

建設関連事業

事業領域

主にコンクリート二次製品、生コンクリート、砂利・砂の製造販売のほか、請負工事、建設に関連した資材の販売等を行っております。



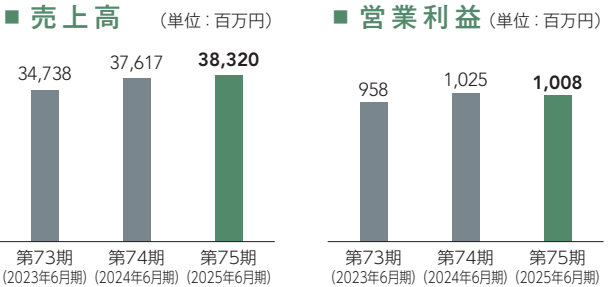
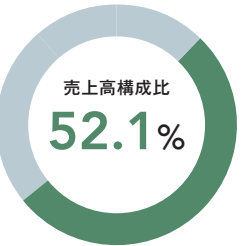
▶ 当期のポイント

公共工事の発注量はやや低調であったものの、民間工事向け需要が堅調に推移したことに加え、工法提案をはじめとする積極的な営業活動により、受注量が増加し増収となりました。一方、人件費、材料費及び販売経費が増加し、生産効率向上や価格転嫁に努めたものの、減益となりました。
この結果、建設関連事業の売上高は9,007百万円（前連結会計年度比4.2%増）、営業利益は316百万円（前連結会計年度比24.0%減）となりました。

電設資材事業

事業領域

主に電設資材、産業機器及び空調システム等の販売を行っております。



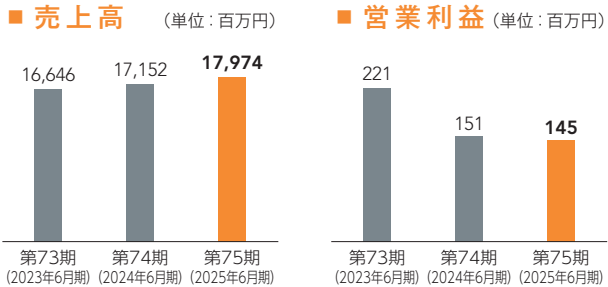
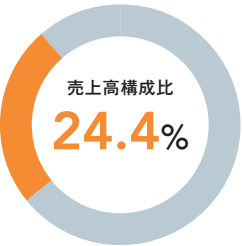
▶ 当期のポイント

公共向け及び民間向けともに、省エネ・省力化や環境負荷低減に関わる設備投資案件への販売が好調に推移し増収となりましたが、人件費、輸送費及び販売経費が増加し減益となりました。
この結果、電設資材事業の売上高は38,320百万円（前連結会計年度比1.9%増）、営業利益は1,008百万円（前連結会計年度比1.7%減）となりました。

カーライフ関連事業

事業領域

主に石油製品の販売及び自動車の販売・整備を行っております。



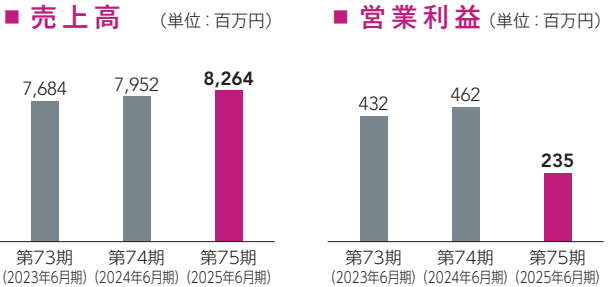
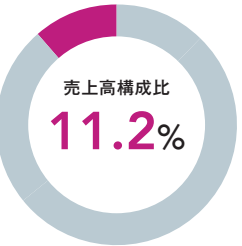
▶ 当期のポイント

石油部門では、燃料油小売りは前年をやや下回ったものの、法人向け販売の積極営業により増収となりましたが、仕入価格の高止まりや人件費の上昇などによるコスト増加分を価格転嫁しきれず減益となりました。一方、オート部門では、自動車の需給改善に伴う車両販売の増加と利幅の改善に加え、整備売上が堅調に推移し、増収増益となりました。
この結果、カーライフ関連事業の売上高は17,974百万円（前連結会計年度比4.8%増）、営業利益は145百万円（前連結会計年度比4.2%減）となりました。

その他事業

事業領域

主に不動産取引及び食品に関する製造販売等の、様々な生活に関する個人消費者向けの事業を行っております。



▶ 当期のポイント

フード関連事業においては、農業関連部門で農産物取扱高が伸びましたが、主力のきのこ培地販売が競争激化により減少し、生産効率向上など利幅確保に取り組んだものの、原材料費及び人件費の増加に加え、新工場取得に伴う一時費用により、減収減益となりました。飲食料品部門では、家庭内消費が堅調に推移したこと増収となりましたが、原材料費、人件費及び諸経費の上昇により減益となりました。エステート関連事業においては、不動産部門では、資材価格や労務費などの上昇に伴う住宅価格の高騰により不動産需要が伸び悩む中、積極的な受注に努め増収となりましたが、原価及び経費の上昇分を転嫁しきれず減益となりました。
この結果、その他事業の売上高は8,264百万円（前連結会計年度比3.9%増）、営業利益は235百万円（前連結会計年度比49.1%減）となりました。

高見澤の事業



つくろう、今日を。

TAKAMISAWA

当社は1951年設立以来、激変する社会情勢に対応すべくさまざまな分野へ事業を展開し、多角的総合企業として発展成長してまいりました。

このたび、将来の経営環境の変化に迅速かつ柔軟に適應し、持続的な成長を続けるために、これまでの事業部制を見直し、関連性の高い事業をグループ化したセグメント制へ移行いたしました。

いつの時代も地域のみなさまに支えられて歩んできた当社は、これから先も“地域社会に貢献する企業”を目指して挑戦を続けます。



INFRASTRUCTURE SEGMENT

インフラセグメント

｜ 建設資材 ｜ 工事 ｜ 運送 ｜

コンクリート製品の供給を中心に街づくりの基盤を支えます。



ENERGY SEGMENT

エネルギーセグメント

｜ SS (サービスステーション) ｜

｜ オート ｜ エネルギー ｜

カーライフサポートを中心に灯油・燃料の供給も行っています。



FOOD SEGMENT

フードセグメント

｜ 特産品販売 ｜ きのこ用培地 ｜

｜ ボトルウォーター事業 ｜ チーズ加工品 ｜

安心・安全で、笑顔があふれる「食」を目指し豊かな食生活をサポートしてまいります。



ESTATE SEGMENT

エステートセグメント

｜ 不動産 ｜ 環境エンジニアリング事業 ｜

｜ 施設運営 ｜

みなさまの暮らしや夢を支えるためのサービスを続けてまいります。

FOOD SEGMENT

フードセグメント

特産品販売

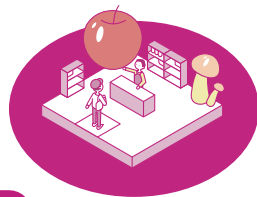
きのこ用培地

ボトルウォーター事業

チーズ加工品

当社は第75期より、関連性の高い事業をグループ化したセグメント制へ移行しました。今回はフードセグメントの事業内容についてご紹介します。

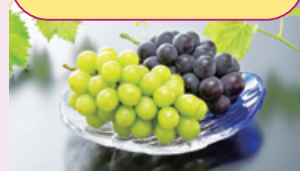
厳格な品質管理をベースとして、地元素材を優先しながら消費者のニーズをくみ取り、豊かな食生活をサポートしてまいります。



特産品販売

旬の果物ときのご類の加工食品を厳選して全国のお客さまにお届けします。

青果の販売



固形分90%以上のなめ茸『志賀の郷』はひと味違う一品です。

なめ茸製造・販売



6月のさくらんぼから始まり、桃、ぶどう、梨、りんごなどさまざまな果物を取り扱い、贈答品から家庭用まで全国各地へお届けしています。

長野県北部は全国有数のえのき茸の産地です。その地の利を生かし、なめ茸を中心としたきのご類の製造加工を行っています。

オンラインショップ 信州旬彩果房

信州の美味しい特産品をお届けいたします



きのこ用培地
企画・販売



きのご栽培用培地に使用するコーンコブミールは、きのごの種類や栽培方法に合わせて培地のブレンドを行い、きのご生産者さまに納入しています。

きのこ用培地

きのご栽培用培地に使用するコーンコブミールの輸入販売を行っています。

循環型農業に
貢献する農業資材



菌床きのご栽培資材には穀物の副産物や食品加工時に発生してしまう残渣等が多く使用されています。また、きのご収穫後の培地は飼料、堆肥などに再利用され、持続可能な社会に、環境に貢献しています。



チーズ加工品 ～ラクティライフ～

ラクティライフ事業



世界各地の健康食品ナチュラルチーズを、安心・安全な管理のもと、手頃なお値段でお届けする事業です。

世界の文化の香りを
まるごと味わえる



安心・安全な管理に
もとつきご提供



お客さまの用途や
店舗に合わせた供給体制



世界の文化を味わえるナチュラルチーズの魅力をお客さまにお届けいたします。チーズは原料輸入前の段階から味・品質ともに信頼のおけるメーカーを調査し、確信の持てるメーカーからのみ仕入れております。お客さまの用途に合わせてカットしたチーズをご用意しております。また、お店のバイヤーさま・仕入れ担当者さまの要望に沿った供給をしております。

ボトル ウォーター事業

宅配水「クリクラ」の製造・販売をし、みなさまへお届けしています。県内の他クリクラ加盟店さまへの供給も行っています。



安心・安全を“つくる”



クリクラのお水は、長野・新潟にある2つの自社プラントで、厳重な品質管理のもと製造されています。より高い安全性の確保と品質向上に取り組み、安心で安全な製品をお届けしています。

安心・安全を“とどける”



クリクラは不純物を徹底的に取り除いたお水に、ミネラルをバランスよく配合した安心・安全なお水です。

高見澤のクリクラ



株主さまご優待品
なめ茸“志賀の郷”

株主優待を活用したレシピをご紹介します！



なめ茸
グルメ

魚介と山椒なめたけのグリル

材料(2人分)

- 志賀の郷 山椒 ……大さじ2
マヨネーズ ……大さじ1
- 鮭の切り身 ……2切れ
 - ホタテ ……4個
 - シメジ ……20g
 - 春菊 ……30g
 - タマネギ ……30g



作り方

- ① グラタン皿に薄切りタマネギ、シメジ、春菊を入れ、その上に鮭とホタテを置き、混ぜ合わせたAをかける
- ② グリルで鮭とホタテに火が通るまで焼く

株主優待に関するお問合せ先

株式会社高見澤 本社
TEL : 026-228-0111



株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
基準日	毎年6月30日 そのほか必要ある場合には、あらかじめ 公告いたします。
定時株主総会	9月中
期末配当金受領株主確定日	6月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先・郵送先	(連絡先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載し公告いたします。 公告掲載の当社のホームページアドレス https://www.kk-takamisawa.co.jp/koukoku/

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主のみなさまの声をお聞かせください！



当社では、株主のみなさまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー

スマートフォンから
カメラ機能で
QRコードを読み取り
QRコードは株式会社デンソーウェーブ
の登録商標です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 koekiku@pronexus.co.jp



株式会社 高見澤

〒380-0813 長野県長野市大字鶴賀字苗間平1605-14
高見澤ダイヤモンドビル7F
Tel 026-228-0111 Fax 026-227-8046
<https://www.kk-takamisawa.co.jp/>

